



ソンウォン、韓国ウルサン工場で機能性モノマーの本格生産を開始

- スペシャルティ製品を安定供給
- スペシャルティケミカルの製品ラインアップを拡充
- 継続的な技術開発と生産拡大に向けた取り組み

ウルサン・韓国 - 2018年03月20日 - ソンウォンは約2年前から開発を始めてきた機能性モノマーについて、このたび韓国ウルサンの生産拠点において量産を開始しました。ソンウォンの機能性モノマーは、最終製品の物理的および化学的特性の向上をはじめとした、様々な機能を、樹脂およびポリマーに付与します。機能性モノマーの用途としては、コーティング、自動車分野、電子パッケージングに利用される樹脂、シーラント、接着剤、エンジニアリングプラスチックなどが挙げられます。

マーケットセンター機能性モノマーのリーダーであるハインリッヒ・シュルテは、「このたび新たな生産能力が備わったウルサンの生産拠点では、機能性モノマーを競争力のある価格で供給することができます。私たちは、当社テクノロジーイノベーションセンターにおけるさらなる製品開発そして生産規模の拡大によって、市場が期待する技術ロードマップに沿った事業展開が可能となります。」と話しています。

ウルサンで最初に製造される機能性モノマーは、ジシクロペンタジエン（DCPD）-フェノール（軟化点の違う、ERM-6085 と ERM-6140 の 2 種類）,およびビスフェノールトリメチルシクロヘキサン（BP-TMC）です。

また DCPD-フェノールは、主に鎖延長反応におけるエポキシ樹脂改質剤として機能し、エポキシ樹脂コンポジットの原料に使用されます。DCPD-フェノールは広範な軟化点および機能性を備えることから、高周波用途において高誘電率および低誘電正接が求められる特殊エポキシ樹脂の市場拡大に寄与します。これらは、新たな 5G 伝送規格要件を満たす配線基板やパッケージング材料として使用されます。

ソンウォンの BP-TMC 標準グレードは、エポキシ樹脂やノボラック型エポキシ樹脂に使用される一方で、高純度グレードは耐衝撃性に優れた透明ポリカーボネート樹脂に使用できます。

ソンウォンは、高品質なフェノール誘導体の製造と改良に関して 20 年以上におよぶ豊富な専門知識と実績をもち、今後も新たな機能性モノマーを開発すると共にウルサン工場での製造を進めてまいります。

SONGWON Industrial社について

1965年に設立されたソンウォンは、韓国・蔚山（ウルサン）に本社を構える、添加剤および特殊化学製品の開発、生産、供給におけるリーディングカンパニーです。世界第二位のポリマー安定剤メーカーであるソンウォン・インダストリアル・グループは世界各国にグループ会社を展開し、世界的な事業基盤と容易にアクセス可能な各地域における事業組織の双方を保有するメリットをお客様に提供します。ソンウォンの専門チームは顧客との密接な連携によって、個々の要件を満たすテーラーメイドのソリューションを開発しています。

詳細については、ウェブサイトをご参照ください。www.songwon.com。

Photo Caption



新たに DCPD-フェノールモノ
マー生産ラインを立ち上げたソ
ンウォンのウルサンチーム。
(写真提供：松原産業)

本プレスリリースと写真は以下のサイトよりダウンロードできます。

www.PressReleaseFinder.com。

高解像度写真が必要な際は、お問い合わせください

Kevin Noels (knoels@marketingsolutions.be, +32 3 31 30 311)。

お問い合わせ:

SONGWON Industrial Group
Giulia Boratto
Leader Global Marketing & Communications
Walzmühlestrasse 48
CH-8500 Frauenfeld
Switzerland

電話: +41 52 635 0000

メール: marketing@songwon.com

メディア関係および掲載記事に関するお
問い合わせ:

Marketing Solutions
Kevin Noels
Box 6
2950 Kapellen
Belgium

電話: +32 3 31 30 311

メール: knoels@marketingsolutions.be

SWPR174JP0318
2018年03月20日

It's all about **the chemistry™**

